



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

施政方針に対する代表質問 負担増やめて市民負担の軽減を

2月20日、市長の令和7年度施政方針に対する各党・会派の代表質問がおこなわれ、日本共産党市議団を代表して並木としえ団長が市長の認識・見解を質しました。

デマンド交通導入へ アンケート実施を

市長の施政方針では「本市を取り巻く環境」として物価高騰に苦しむ市民のくらしの困難について触れられなかったことは「残念」と述べ、かつてないほどのくらしの困難にこそ心を寄せるべきと、市

長の見解を求めました。さらに、介護保険料や国保税の値上げが市民のくらしを一層困難にしていることを指摘し、負担増をやめて市民負担軽減を図るべきと主張しました。

国の強力な要請を受け「DX推進が重要な課題」としていることについて「マイナ保険証で不安や混乱が広がっていることをどう認識しているか」を質しました。

施政方針では「人口減少・少子高齢化に向けた取り組み」の街づくりについて連続立体交差、北春日部土地区画整理、赤沼・銚子口産業基盤整備の

大型公共事業のみをあげていますが、市民の高齢化に伴って日常生活の「足の確保」が切実な要望になっていきます。デマンド交通導入について見解を求め、市民要望を把握するために、デマンド交通について全市民を対象にアンケートの実施を提案しました。

少人数学級の 検討こそ急ぐべき

保育所は当初から待機児童がいいます。「待機児童ゼロ」を本気でめざすのであれば公立保育所の新增設に踏み出すべき、と求めました。

昨年に引き続き「学校規模の適正化に向けた検討」を進めると述べたことについて「教員の負担を減らし、学ぶ楽しさを知り、生きた学力を身につけるために、少人数学級の検討こそ進めるべき」と主張しました。

障害者(児)のニーズに寄り添い、適切なサービスを提供するために、入所施設の設置をはじめ、サービスマニキュアを整備充実を急ぐべき、と求めました。

市長の主な答弁

- 物価高騰が市民・事業者に影響を及ぼしていることは認識している。持続可能な財政運営のため一定の負担をお願いしている。
- マイナ保険証は引き続き丁寧な対応で推進していく。
- 誰もが自由に安全に移動できるよう、交通空白地域についてコミュニティバス以外の多様な形態を検討していく。
- 保育所における待機児童を早期にゼロにするため、幼稚園などに定員の見直しをお願いしていく。
- 学校規模は文科省が推奨する最適な規模をめざし、スピード感をもって取り組む。
- 障害者(児)のニーズに寄り添って、基盤整備を含めて検討していく。



「こども誰でも通園制度」は、安心、安全な体制でこどもを守れるのか?!

2月21日、大野とし子議員は「春日部市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定」について、質疑を行いました。

この条例は「こども誰でも通園制度」を遅くも令和8年度から実施するために条例を制定しようとするものです。

職員の緩和で、安心安全は保たれない!

「こども誰でも通園制度」は、国が子育て支援として就労していなくても月10時間程度、希望するときに保育園等に通園することができるといふものです。孤立した育児の中で不安を抱え

る子育て世帯への支援として、こどもの良質な生育環境を整えること等を目的としてすべての子育て世帯を支援しようと国が実施を決めました。

制度の枠組みとして、利用対象は6か月児〜2歳未満児、実施する場所は市が認可をした保育園等です。利用時間は、保護者が認可された保育園に直接予約し、時間単位で希望の時間に来園します。認定のためには、施設と初回面談を行い、アレルギーなど確認します。

職員体制については、在園児と一緒に部屋で保育を行う一般型において、子育て支援員、家庭的保育者を配置し、保育士を半数以上とする。合同で行う場合は、

保育士を1名とすることが出来る。乳児等が3人以下であれば家庭的保育者を保育士とみなすことができる。とやり方や子どもの人数で職員配置が緩和されます。

安易なやり方で、幼い命が奪われてはならない

大野議員は「全ての子育て世帯を支援しようとする考えは大切なことと考えるが、施設と直接予約し、可能な時間に時間単位でくることは、その子の特徴や予約状況を確実に把握することができると、保育士の配置もこどもの人数によって緩和され、安全は確保できるのか、安易な取り組みで子どもの命が奪われることがあってはなりません。市としてこの事業を行わないという選択肢はあるのでしょうか。行なうとして

も職員は全て保育士とするべきではありませんか。

令和7年度は、条例は制定するとしても、事業は行わず、体制の確立、実施する事業所選定など準備を行う期間とすべきです。何より、待機児解消が優先すべき課題と考えますが、市はどの様に考えますか」と質しました。

こども未来部長は「国が進める事業であり、実施しないという選択肢はありません。保育士の配置は、研修を受けた方は一定のレベルのある方ですので、適切に配置していきたい」と答弁しました。

市長は「令和7年度に開始する予定はありません。子どもたちが良好な環境で豊かに成長できるように、全体的に子育て支援をしていきたい」と答弁しました。

休日の当番先

- 市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119
- 3/ 2(日)春日部西口駅前クリニック(内科系)中央1-52-8 TEL 796-3511 岡田医院(小児科系)一ノ割2-6-21 TEL 735-7848 梅原病院(外科系)小淵455-1 TEL 752-2152
- 3/ 9(日)みどり内科医院(内科系)緑町4-13-25 TEL 745-5000 いぶきこどもクリニック(小児科系)大枝309 TEL 735-0854 いかわ耳鼻咽喉科(外科系)大倉378-4 TEL 746-8733